

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表：令和 6年 4月

事業所名 きっずサポートなにわ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・個々のプログラムに応じて、使用するエリアを決めている。 ・また、それらに合わせて、同じ部屋で活動する人数を決めている。	・利用者の多い時間帯(特に平日夕方)は手狭に感じることがあるため、今後もエリアの活用方法については検討していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・一人の利用者に対し、担当者一人という体制をとっている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・年齢や活動内容に応じて、適宜環境を変えることができるようにしている(机の高さ、エリアの広さなど)。 ・イラストや文字を用いて、情報を提示するようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・開所前に、清掃を行っている。 ・利用者の入れ替わりの際など、適宜アルコール消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・毎月1回の会議の場を設け、スタッフ全員が参加して意見を出し合えるようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年1回、アンケートを配布し、評価を求めている。	・事業所評価について、スタッフ間での共有をすすめるとともに、改善業務について積極的に取り組めるようにする。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページにて、公開できるようにしている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	※第三者による外部評価は実施していない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に外部の講師を招いて、助言等をうける時間を設けている。	・「検査実施について、前もって勉強する時間、研修があるとうれしい」との意見があったため、今後検討していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・行動観察を始め、適宜、検査(知能検査など)などを実施している。 ・それらの結果から、必要と思われることを支援計画に反映している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・標準化された検査を用いている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・適宜、変更や追加はあるものの、概ね支援計画に沿って、日々の支援内容を考えている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・時間帯にもよるが、グループワークの時間があり、その際の活動は、担当者間で事前にやり取りをしている。	・個別担当制をとっているため、チームでプログラムを考えることが少ない。その場合、一人で抱え込むことになりかねないため、今後はチームで話し合える場を増やしていけたらと思う。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・同じ活動でも、キャラクターを変えたり、一緒に行える活動(ゲーム)などの種類を増やしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか			○	・基本的には、個別療育が中心だが、こちらの体制と利用者のニーズによっては、小集団での活動を行うこともある。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・フォローが必要な場合は、事前にスタッフ間でのやり取りを行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・適宜、必要な場合は、支援終了後にスタッフ間でやりとりすることがある。 ・定期的な会議の中で、支援に関する情報共有をしている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎回、活動内容とともに、改善案なども含めて記録に残している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に一回、保護者との面談の機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・関連機関との情報共有に努めている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—	※受け入れしていない。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—	※受け入れしていない。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	・情報共有、見学の機会を適宜設けている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			※同上	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		※同上	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	※そのような機会は設けていない。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・定期的に参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・利用時に毎回、保護者とのやり取りを行う時間を設けている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・年2回、左記のようなプログラムを開催している。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学、契約時に説明している。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・利用時並びに、定期的な面談の中で、保護者からの相談等を受け、それに応じた助言等を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・毎年1回、保護者交流会を開催している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				・より適切な対応ができるようにしていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・法人の広報誌などで、情報を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・文字やイラストなど、視覚的な情報を用いながら、情報を伝えるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○		・今後も、徹底した周知ができるようにしていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回の避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・契約時に確認している。	・担当者変更など、引き継ぎ場面での再確認を行う。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	※食事提供はしていない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○		・今後は、ヒヤリハットなど、事業所内で共有できるようにする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				・今後、より適切な知識が学べる機会を設けられるように努める。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			法人全体で、身体拘束を実施する上での基準等をまとめスタッフ間で共有している。子どもや保護者へは、必要に応じて説明等を行うこととしている。	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った評価です。